

「京都で学ぶアジアと日本」研修 2016

SYADZA MUTHIA, Undergraduate Student

February 7th – 20th, 2016

(a) Academic outcomes

SEND プログラムで私が受けた授業は日本語 I です。日本語 I の授業では、基本的な日本語の会話について勉強し、実践することができました。たとえば、断り、依頼、許可などをあらかず表現の使い方です。そして、メールの書き方やスピーチのし方も教わりました。ほかに、いくつかの文化講義を受けました。それぞれの授業では、たとえば、日本の教育、京都の歴史文化、古文書の読み方などを学習しました。書道の講義もありました。さらに、学外研修では、自分で和菓子を作ることができました。琵琶湖についてよく知り、府立総合資料館で古文書について理解を深めました。中でも、発表準備は特に大事な機会でした。発表準備を進める中で、人前で話すことを練習しました。

(b) My experiences in Kyoto University

京都では、いろいろな良い経験をしました。SEND プログラムに参加して、より正しい日本語を使えるようになりました。その中で、日本文化講義や学外研修を受け、日本についてこれまで知らなかったことをあらためて知りました。自由行動のときに、いろいろな京都の観光名所へ行って、日本の歴史について学び、いい思い出を作りました。また、京都大学の学生としゃべり、日本語の会話を練習しました。京都大学の先生方と学生はとても親切で、好印象をもちました。

(c) The content of the program

日本語 I の授業をはじめとして、日本文化講座では書道、日本文化講義では、日本列島の言語文化、京都の歴史文化、学校教育の中の日本文化、古文書、古典文学と美意識などを学びました。学外研修では、友禅染体験、和菓子作り、琵琶湖疎水記念館と沖島探訪、京都府立総合資料館の見学などをおこないました。

(d) The impact of the program on your career plans

SEND プログラムを受けた経験は、今後の進路を考えるうえで、とても役に立つと思います。私は大学の日本学科で勉強しているので、日本の言語や文化や社会などについて勉強しています。それで、このプログラムで得た知識、たとえば、日本語文法や日本文化の知識、商品(和菓子)を作る技術等は、大学での修学に応用することができると思います。今後、仕事をするとき、これらの日本で直に身につけた知識を使うこともできると思います。さらに、私は日本文学に興味があり、日本文学に対する理解を深め、研究しようと考えています。このプログラムに参加したことは、今後の研究へのモチベーションを高めました。